

土砂災害危険 ハザードマップ 芦屋市

県から「土砂災害警戒情報」が発表された場合、土砂災害警戒区域のなかには、早めに警戒を呼びかけましょう。



立体交差して通る道路を地下道（アンダーパス）といいます。アンダーパスには、地下にトンネルや地下道があります。この道路は路面高も低く、大雨による浸水の可能性が高く、冠水する可能性があります。通行不能になる可能性があります。通行不能になる可能性があります。通行不能になる可能性があります。

大雨の降る方に注意しましょう。雨量は、1時間あたりを示しています。

- 80mm以上
 - 息苦しくなるような圧迫感がある。
 - 恐怖を感じる。
- 50～80mm未満
 - 滝のように降る。
- 30～50mm未満
 - バケツをひっくり返したように降る。
- 20～30mm未満
 - 地面一面に水たまりができる。
 - 雨の音で話が良く聞き取れない。
 - 寝ている人の半数ぐらいが気づく。
- 10～20mm未満
 - 雨の音が聞こえる。

太さで深めの空き缶等を、雨の降り始めから置いておくと、雨量（ミリの）目安になります。

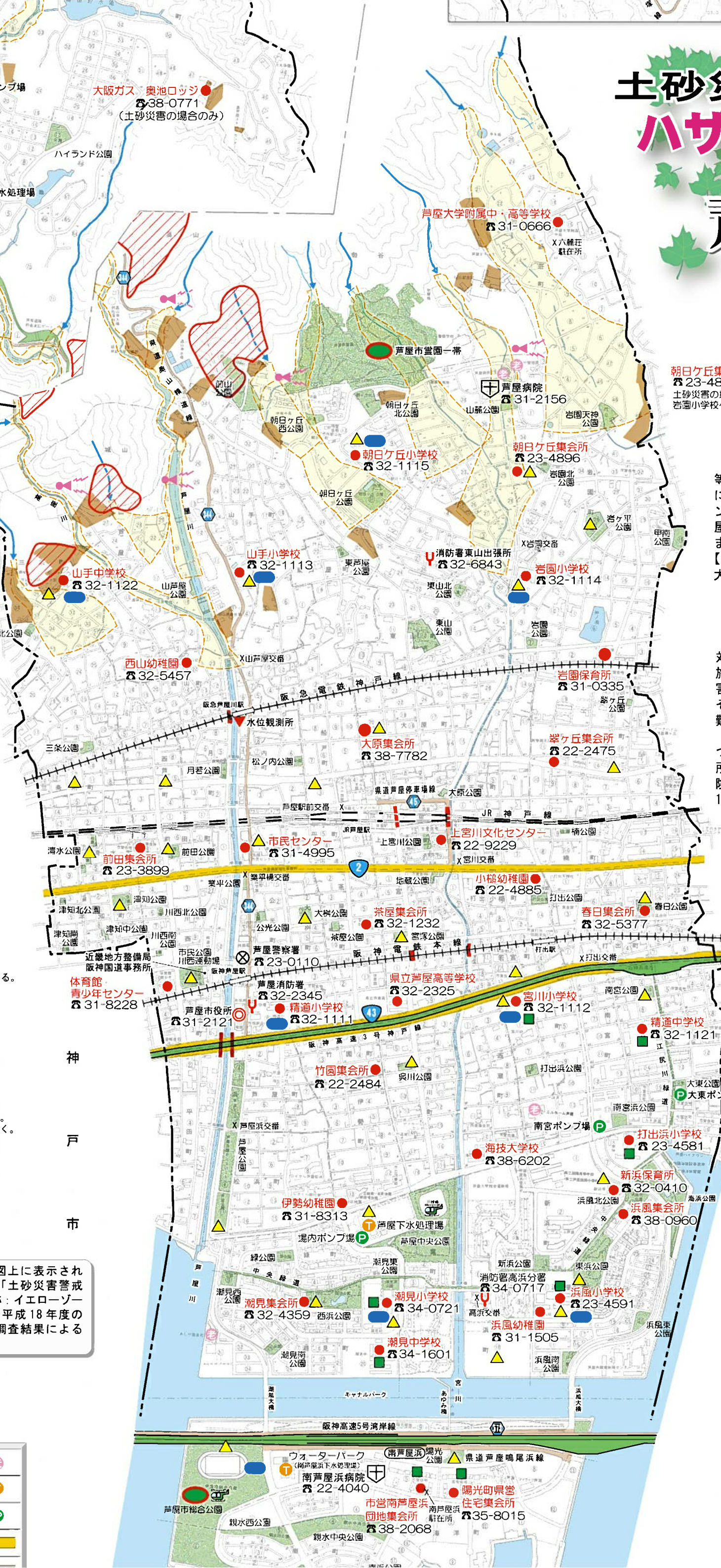
災害情報凡例

- 流 川
- 区域
- 区域
- 区域
- 区域

この地図上に表示されています「土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）」は、平成18年度の兵庫県調査結果によるものです。

地図情報凡例

所	◎	老人福祉施設	老
署	⊗	下水処理場	T
所	X	ポンプ場	P
所	Y	国道	道



朝日ヶ丘集会所 ☎23-4896
土砂災害の場合は岩園小学校へ

浸水想定区域
芦屋市を流れる芦屋川と宮川等については、兵庫県により1回程度起きる大雨を想定したシミュレーションによる検討がなされています。芦屋川・宮川では氾らんが発生しました。【芦屋川流域の12時間雨量 300.0mm、最大時間雨量 90.2mmを想定したシミュレーション結果】

土砂災害警戒区域
「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止に関する法律：平成17年7月1日改正土砂災害防止法」といいます。それぞれのある区域について、危険体質の整備などが定められています。芦屋市においては、「土砂災害危険区域」の調査が、兵庫県阪神南地区により平成18年度に実施され、危険個所において、「土砂災害警戒区域」が平成19年9月18日に指定されました。

南海地震による第一波の到着予想

津波は震源地近くではジェット機並みの速さで、湾内でも電車（時速約110km）並みの速さで押し寄せます。

